

関西防衛を支える会 第29回 定期総会



懇親会後、記念写真を撮影

遠藤充陸将が防衛講話

ホテルモントレグラスミア大阪 5月16日



遠藤充陸将



堺シティオペラが「君が代」「海ゆかば」を披露



濱野晃吉名誉会長

第29回定期総会が5月16日にホテルモントレグラスミア大阪（大阪市浪速区港町1）で開かれました。

その後、中部方面総監遠藤充陸将の防衛講話「わが国における防衛力の変革の方向性と中部方面隊の取り組み」がありました。

そして、よみうり運営に取り組みを「一国民として」の思いがありました。

そして、より強靱な組織運営に取り組んでいることを一国民として大変頼もしく思いました。

また、制服を着た自衛隊の皆さんから溢れます。

(名村美紀)

暑中お見舞い申し上げます。

会員の皆様には平素から
国防会の活動にご支援、ご
協力を賜り心からお礼申し
上げます。

早いもので戦後81年とな
りますが、お盆が近づくと、
私達日本人にとりましては、
ご先祖様をお迎えし、そ
してお送りする祈りの季節
となります。

また、この時期マスコミは例年と違って終戦の特集番組を組み「反戦・平和」を報道致しますが、世界を見渡すと未だに戦火は収まらず、兵士だけでなく、多くの市民や子ども達が善き添えになり命を落としていきます。

もあって、一億総特攻が叫ばれ、「飛行機、特殊潜航艇、人間魚雷回天、特攻滑空機桜花、小型特攻ボート、震洋、水中特攻兵器伏龍」等々で人命を犠牲にした各種特攻兵器が考案され、多くの若者が、祖国の勝利と皇国の栄栄を願って「わが身諸共」と散華された。

しかしながら現在ではウ

クライナとロシアの戦いや、米国・イスラエルとイランの紛争を見ていると、急速な兵器の進歩により「ミサイル、ドローン、人工衛星、AI」を駆使した戦闘に代わってきています。

れる年代の方々も後期高齢者となる時代を迎え、国防に對する考え方も変化しつつあります。

しかしながら、今日の不安定な国際情勢を鑑みますと、他国からの侵略や、武力攻撃事態等時どのような対応するか、世論や国民の理解が得られる防衛体制の強化が喫緊の課題ではないでしょうか。

戊辰戦争以降、国家防衛のためにひたすら「困安かれ」の一念のもと尊い命を捧げられたご英霊とその御霊に心から感謝を捧げる企画を考えております。會員の皆様にはぜひご参加いただければありがたく存じます。

関西防衛を支える会会長 新井 信彦

世論や国民の理解が得られる防衛体制の強化

うえ、兵器を使用して、敵陣への攻撃や人型ロボット同士との交戦が想定され、戦略、戦術も大きな変化を余儀なくされるものと考えられます。

今年もお盆の季節を迎えるにあたり、我が国の勝利と弥栄を願って命を捧げられたご英霊に改めて感謝と哀悼の誠を捧げたいと思います。

令和8年度の「関西防衛を支える会」研修旅行では、11月に靖國神社に参拝し、

秋の1泊研修ご案内

朝霞駐屯地・靖國神社他研修

日時:11月15日(日)・16日(月)

靖國神社では正式参拝と大塚海夫宮司のご講話を拝聴、翌日は陸上自衛隊の中樞機能が存在する朝霞駐屯地での研修です。

定員：先着40人 参加費：39,000円

(ご自宅から東京間など交通費別、詳細は同封チラシをご覧ください)

関防会の歴史勉強会 中島サロンのご案内

担当
北野喜広
岡本昭義

第114回

(詳細は同封チラシをご覧ください)

日 時 令和8年9月12日（土）16時から

講 師 武居 智久 氏 (元海上幕僚長)

演 題 西太平洋における地政学的競争と日本の安全保障
～「力が正義」の時代をいかに生きるか～

会 費 講話のみ 2,000円 (未会員3,000円)

講話懇親会 8,000円 (未会員 9,000円)

会 場 ニューオーサカホテル(地下鉄「新大阪駅」7番出口より徒歩30秒)

北部支部 第5回定期総会

6月7日、ホテルベルマーレにおいて、北部支部第5回定期総会を開催しました。新井会長をはじめ各会員が出席し、提出された全議案は原案どおり承認されました。総会終了後には、舞鶴地方総監部管理部長・細田直人1等海佐による防衛講話が行われました。引き続き開催された懇親会には、貴田第4術科学校長、細田管理部長、後藤舞鶴教育隊司令、古庄経ヶ岬分屯基地司令、坂上舞鶴水交会長、村上隊友会舞鶴支部長、米田舞鶴自衛隊家族会会長をはじめ多くの来賓にご出席いただき、活発な意見交換が行われるなど、大変有意義なひとときとなりました。(辻原健二)



初夏の強い太陽が降りつける5月24日、第3師団創立65周年と千僧駐屯地創設75周年の記念行事に参加。一糸乱れず行進する音楽隊の演奏、厳しい訓練を重ねてきた隊員の皆さんならではの見事な訓練展示...ドローンによる敵の状況確認等を実際に目にするなど、国防にもAIやITの高い技術が求められていることを実感しました。私たちの住む近畿2府4県の安全を守る第3師団の皆様には特に感謝の気持ちが湧きました。(菊池哲也)



5月17日、愛知県名古屋市に所在する守山駐屯地に於いて第10師団の創立64周年記念行事が挙行され、時岡北部支部長と私の2人で参加しました。守山駐屯地は、東海北陸6県の防衛警備を任じ、同地域の災害派遣も担任する司令部が置かれ、67周年を迎えました。当日は季節外れの暑さのなか、大迫力の訓練展示を見学しました。その後の祝賀会食では、垂水師団長をはじめ、関係指揮官の皆様と懇親を深めることができました。(神崎忍)



相園和宏 中部方面総監部幕僚長(中央) 左から神崎顧問、垂水達雄第10師団長、時岡北部支部長

陸上自衛隊第3師団創立65周年 千僧駐屯地創設75周年記念行事

寄稿

第10師団創立64周年 守山駐屯地創設67周年記念行事

現在、日本の政治において誰が「真の保守現実派政治家」であるかが明白になってきている。昨今、日本維新の会の藤田文武共同代表が見せた粘り強い奮闘は、日本を代表する保守現実派政治家として高く評価されるべきものである。今回の「皇室典範改正問題」は、総選挙で300議席以上を獲得した自民党の中に、26代にわたる日本人が守り通してきた独自の「伝統治家」がただ存在するの秩序、モラル」の物語だからである。歴史上、全ての

間男性)やその子どもを皇子に迎える際の「15歳以上族(皇統譜)には絶対に入れない」という年齢制限である。藤田幹事長はこの年齢制限の撤廃・修正を求めて執行部と激しく戦った。本来であれば、生まれたばかりの赤ちゃんであっても、家族が抱え込んでしまふ」といふ欠点があった。総理とな

また、消費税ゼロ(特に飲食料品)という公約についても、麻生・小林体制から「レジのシステム変更」に12年かかる」といった嘘の言い訳で阻まれ、1%への減税すら危うくなっている。こうした妥協が続けば、有権者の支持は急速に離れ、この3週間あまりで支持率が急落する恐れがある。さらに、首相就任後に靖

中国共産党は政権の正統性を維持するために、凄まじい「反日憎悪教育」を子供たちに施している。映画「南京写真館」を全小中高生に強制視聴させ、日本への憎悪が情緒的破壊して泣き叫ぶ子どもたちの姿が実態で

政治家は有権者が育てるものである。歴史の岐路に立つ今、国民はただ静観するのではなく、地元議員の事務所に対して「なぜ皇統の問題で発言しなかったのか」「麻生氏が怖いのか」と厳しく叱咤の電話を入れ、意思を伝えるべきである。有権者の厳しい目とSNS等を通じて主体的行動こそが、この国を守る唯一の力となる。

歴史勉強会

中島サロン

第113回
6月27日

歴史の岐路に立つ日本

私たちは今、何をすべきか

作家・ジャーナリスト 門田隆将氏



木原総官房長官や当の麻生太郎氏らが、高市氏の意向(男系男子の養子縁組第一優先)とは異なる方向へ暴走しているにもかかわらず、それを修正できずにいる。さらに、高市首相を追い詰めるための「誹謗中傷動画問題」などの捏造スキャンダルが週刊文春や共同通信によって仕掛けられ、その対応で夜中も眠れないほどの激務を強いられる。

ある。高学年になれば日本を罵倒する作文を強制され、大人に対しては「DF41(東風41型)核ミサイル7発で日本を絶滅できる」という啓蒙動画がAIの監視を潜り抜けて何年も流されている。1200万人のフォロワーを持つ中国の著名インフルエンサーは「現代中国人の使命は日本人を払い、アジアの自由、民主、人権、法の支配」の名手としてのリーダーシップを発揮しつつある。

政治家は有権者が育てるものである。歴史の岐路に立つ今、国民はただ静観するのではなく、地元議員の事務所に対して「なぜ皇統の問題で発言しなかったのか」「麻生氏が怖いのか」と厳しく叱咤の電話を入れ、意思を伝えるべきである。有権者の厳しい目とSNS等を通じて主体的行動こそが、この国を守る唯一の力となる。

「我が国における防衛力の
変革の方向性」

我が国は現在、「我が国が
主として、他国からの
侵略を阻止し、排除する」
ための防衛力の変革を進め
ています。2023年に「国
家安全保障戦略」、「国防
力整備計画」、「防衛力
整備計画」が策定され、5
年後の改定を予定していま
す。ところが情報戦、認知
戦、ドローンを使った作戦
等、安全保障に係る環境が
大きく変化していることか
ら、今年末に前倒しでの改定が
予定されています。

○我が国周辺の安全保障
環境

中国は国防費を不透明か
つ高い水準で増加させ、力
による一方的な現状変更の
試みを執拗に継続していま
す。尖閣諸島周辺における
中国海警船の接続水域内の
航行は常態化し、2025
年5月には領海侵入中の中
国海警船からヘリコプター
が発艦し我が国の領空を侵
犯する事案が発生しまし
た。また、九州、沖縄から
与那国島を結ぶ、いわゆる
「第一列島線」を超え、伊
豆・小笠原諸島からグアム
島を結ぶ「第二列島線」に
及ぶ我が国周辺全体での活
動を活性化させており、海
上戦力の運用能力向上や、
遠方の海域での作戦遂行能
力の向上を目指しているも
のと考えられています。

【スタンド・オフ
防衛能力】



我が国は国防費を不透明か
つ高い水準で増加させ、力
による一方的な現状変更の
試みを執拗に継続していま
す。尖閣諸島周辺における
中国海警船の接続水域内の
航行は常態化し、2025
年5月には領海侵入中の中
国海警船からヘリコプター
が発艦し我が国の領空を侵
犯する事案が発生しまし
た。また、九州、沖縄から
与那国島を結ぶ、いわゆる
「第一列島線」を超え、伊
豆・小笠原諸島からグアム
島を結ぶ「第二列島線」に
及ぶ我が国周辺全体での活
動を活性化させており、海
上戦力の運用能力向上や、
遠方の海域での作戦遂行能
力の向上を目指しているも
のと考えられています。

また、「無人化・自動化改
修」、「アウトソーシングの
一層の活用」、「政府と地方
公共団体、民間団体等との
協力の促進」を進めていき
ます。

【無アセット防衛能力】
ドローンに象徴される無
人装備による情報収集や戦
闘支援などの能力を言いま
す。

【無人アセット防衛能力】
ドローンに象徴される無
人装備による情報収集や戦
闘支援などの能力を言いま
す。

防衛講話 5月16日

我が国における 防衛力の変革の方向性と 中部方面隊の取り組み

陸上自衛隊中部方面総監 陸将 遠藤 充 氏

我が国は人口減少・少子
高齢化という構造的課題に
直面しており、防衛省・自
衛隊も人材確保が厳しい現
状です。これまでの10年間
で、応募者数は約4割、採
用者数は約3割減少し、2
020年には80・7%あつ
た士の充足率は2024年
には60・7%まで悪化して
います。また、自衛官の中
途退職者数も増加傾向にあ
り、入隊した若者が中途退
職しているケースが多いの
が現状です。現員を可能な
限り確保するため、自衛官
の対象者の一層の拡大や職
業としての更なる魅力化を
図るとともに、1人ひとりの
能力を最大限発揮できる
環境を構築していきます。

【8南海レスキュー】
南海トラフ地震対処能力
の概成を目的とし、指揮幕
僚活動を演練する指揮所訓
練を今年の7月に、日米豪
及び自治体など関係機関等
と連携した実動訓練を来年
1月に予定しています。

【共同訓練】
最近ではオーストラリアを
加えた、日米豪の枠組みで
の共同訓練が増えています。
日米豪共同指揮所演習
「ヤマサクラ」(指揮幕僚活
動や調整要領を訓練するも
の)で昨年度に伊丹駐屯地
で実施し、米豪陸軍との実動
訓練「オリエンタル」(国内
演習場での共同実動
訓練であり、昨年度に共同
演習訓練や共同衛生訓練
などを実施)、米豪軍との
実動訓練「サザンジャッカル」
(広大なオーストラ

【お詫び】
総会資料に不備がありました
こと、深くお詫び申し上げます。
ホームページに修正した資料を
掲載しております。

自分の「ミッション」は何なのか

顧問 竹本 三保

最近では、陸上自衛隊大
久保駐屯地で教育を受けて
いた「自衛官候補生」
55人に対し、「自分の
ミッションを考える」
という講話を行いました。
海上自衛隊で女性
活躍の道を切り開いた
経験や、校長時代のエ
ピソードを交えながら
「何のために生まれ、
どのように生きるべき
か、また生きたいか」
を考えるよう促しまし
た。人生を「やりたい
自分」「仕事」「健康」
等の8つの分野に分け、そ
れぞれの目標を短時間で思
いつくすように書き出し人生
を俯瞰する、というワーク
も実施しました。

自分本来のミッションを
遂行することは、その人に
とって本当に幸せなことだ
も、目的・目標を定め、原
因を追究し、原

大久保駐屯地創立69周年 記念行事

5月30日、大久保駐屯地
創立69周年記念行事に時岡
利行支部長と参加し、観閲
式並びに懇親会へ出席しま
した。私は第45普通科連隊
重迫撃砲中隊、第49普通科
連隊第4中隊の即応予備自
衛官として約42年間この駐
屯地に通い続け、第二の故
郷ともいえる特別な場所で
す。



左から岡本研修副部長、末継智久大久保駐屯地司令、時岡北部支部長

7月4日 阪神基地隊特別公開 7月5日 サマーフェスタ2026



輸送艦 にほんばれ 輸送艦 くによき LCAC揚陸艇

東郷祭

東郷平八郎の命日

去年に引き続き、今年も
5月30日に開かれた大阪護
國神社の東郷祭に参加する
機会をいただきました。
浪速宮では東郷平八郎元
帥の御遺髪のもと、御遺族
の参列により式典が厳行さ
れました。私は低頭して軽
く目を閉じて宮司の祝詞を
拝聴していました。
思い出すところ、日本海
海戦の大勝利という成果
は、現在の自衛隊にも言え
ることでありますが、日々

(中村恵英)

第32軍高級参謀、八原博通の沖縄戦

戦略持久の作戦に自信、攻勢に断固反対

関西防衛を支える会 副会長 原田 光生

①はじめに

沖縄の戦いが終わって81年となる。住民を巻き込んだ悲惨な戦いで軍民合わせて約20万人、米軍1万2、500人が亡くなっている。この戦いで軍の編成、作戦、終戦後の指導をしたのが、第32軍高級参謀、八原博通大佐(陸士35期)である。八原は明治35年10月鳥取県米子市で生まれて旧制米子中学から陸士(35期)に進み陸大を昭和4年に恩賜組で卒業している。「陸軍省人事局、大本営参謀、ビルマ方面軍参謀」等の要職を歴任、最後に昭和19年3月沖縄防衛のために編成された第32軍高級参謀(陸軍大佐)として着任している。



八原博通大佐

島サイパン島へ米軍が侵攻し、戦況不利の中でわかたに南西諸島の中心となる沖縄本島の防衛がクローズアップされ、牛島(陸士20期)中将が軍司令官に、参謀長として長勇(陸士28期)中将が着任し、昭和19年10月まで当初「第9、第24、第62」の3個師団と海軍陸戦隊が1万と、総兵力約8万6千人、さらに砲兵力も砲410門が配備された。一方米軍の上陸時部隊約18万3千、艦船約1、500隻で沖縄本島には4月1日上陸、多数の住民を巻き込んだ激しい戦いが繰り広げられた。



投降する日本兵

彼の軍歴で注目されるのは、2年間のアメリカ留学と、留学中の米陸軍での勤務経験であり、米国の軍需生産力の膨大とそれに支えられた火力重視の戦術方針を肌で学び、この経験が後の沖縄戦での合理的な作戦に生かされている。

②作戦上の誤算

(1)精兵第九師団(金沢)の転出

八原大佐の当初作戦は、水際ではなく内陸部に堅固な陣地を構築し、そこから上陸してくる米軍に火砲で打撃を加えたのち、三個師団の歩兵をもって「撃滅」させる計画であった。しかし彼の作戦計画は途中で頓挫した。それは当時最強と言われた第九師団の台湾転

出である。八原はマキン・タラワ、ガダルカナル、サイパン、グアム島等での島嶼戦敗北に学び、水際作戦を止め強固な陣地を内陸部に構築し、本土防衛のためできる限りの持久戦に持ち込む作戦であった。しかるに大本営や台湾の方面軍から最強の第九師団(甲編成で約2万人)を台湾に転出されたことから、作戦計画が根底から見直されることとなり、部隊は度重なる陣地転換のため士気を著しく低下させた。また、海軍の要望もあり無駄な飛行場建設に部隊を投入し、硫黄島のような堅固な地下陣地構築に全力投入できなかった。



摩文仁の丘

③戦後の八原博通と回顧

(1)脱出と帰還

八原は、司令官と参謀長の自決を見守ったあと、難民に紛れて逃避行をし、難民と同居していたところを彼らに発見され、長勇参謀長がハラハラと涙を流して「君にも幾多の考えはあるだろうが、今度の攻勢に同意してくれ、一緒に死のう」と言われ、また牛島司令官が同意したこともあって止むなく同意したが、この攻勢により兵約5千人が戦死し、重砲などの弾を打ち尽くしたことから、戦線は一挙に逆転し米軍の進攻が早まる結果となった。攻勢失

④反省と教訓

八原は戦術持久の作戦に自信をもって攻勢には断固反対していたが、5月4日の攻勢の前、長勇参謀長がハラハラと涙を流して「君にも幾多の考えはあるだろうが、今度の攻勢に同意してくれ、一緒に死のう」と言われ、また牛島司令官が同意したこともあって止むなく同意したが、この攻勢により兵約5千人が戦死し、重砲などの弾を打ち尽くしたことから、戦線は一挙に逆転し米軍の進攻が早まる結果となった。攻勢失

敗後「牛島司令官」は八原に「貴官の予言通り攻撃は失敗した。今後は一切を貴官に任せる」と以後作戦上の口出しはせず、戦いは首里の撤退、摩文仁での最後の戦いと牛島・長参謀長の自決へとつながっていった。

(2)歴史を過ぎ去ったこと

②回顧

八原は長参謀長から「沖縄戦はどんな作戦を採っても負ける。本土に帰っても作戦の是非を論ずるな」と言われていたようである。しかし戦後作戦の根本的な事実誤認や本質をはずれた文書が出ることから、昭和47年に「沖縄決戦」(高級参謀の手記)を出版している。この中で彼は「米軍が嘉手納に上陸するや大本営や方面軍から攻勢を命じってきた。この失敗で第32軍は混乱に陥り敗走することになった。決戦を求める事なく、終始一貫した戦略的持久戦を続けていたら、三分の一、あるいは四分の一の兵力を温存して終戦を迎えていたのではないかと述べている。

(3)おわりに

八原は日本軍の本質を、「高級将校は先遣洞察能力と十分冷静な打算や意志に欠ける」、幕僚も「主観が勝って客観が弱い、自信力が強すぎる」と評し、また米軍は日本軍を評して「兵は優秀、中堅幹部は良好、高級首脳は愚劣」と評している。これに現在の「官僚組織や企業にも通じるのではないだろうか。『学歴至上主義』『世襲議員・経営者』が多く、自らは挑戦せず危地には飛び込まない。花園に生きていながら何事も自らが正し

舞鶴教育隊隊員激励訪問



5月26日、時岡支部長ほか4人が海上自衛隊舞鶴教育隊を訪問し、今春入隊した隊員を激励しました。隊員代表8人に感謝と激励の言葉を贈るとともに、激励品を手渡しました。隊員の皆さんが健康に留意され、全員そろって8月末の修業式を迎えることを祈念します。(辻徹)



隊員代表と記念撮影

海軍戦没者追悼式

湿気と雨雲に包まれた5月31日、大阪護国神社で海軍戦没者追悼式が斎行されました。呉地方総監である松本完海将の講話を拝聴し、改めて日本の海にある危機を感じました。(菊池哲也)



追悼慰霊の弔銃発射

中部方面音楽隊

3等陸曹 森井 茜



音楽隊でホルンという楽器を担当し、演奏会等で目にする奏楽隊を中心に活動しています。ホルンは金管楽器で、強く華やかな音も柔らかく優しい音も出せる楽器です。強くかっこいい姿や優しく寄り添う姿、幅広い表現によって1人でも多くの方の心に残る演奏をしています。

編集後記

毎日「暑いですね」が挨拶代わりになり、冷たい飲み物やエアコンが恋しい季節となりました。そんな暑さのなかでも、日々の任務や訓練に励む自衛隊の皆様には、本当に頭が下がる思いです。自衛隊には、体力を生かす仕事だけでなく、整備、通信、医療、事務などさまざまな仕事があります。身